

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	13,883	14,454	13,335	0.92	・利用・登録に関しては、ほぼ横ばいになっており落ち着いてきている傾向がみられる。 ・地区図書室3室(大江山・曾野木・両川)が4月よりセルフ貸出を実施することにより、開室日・時間が大幅増になったが、利用は全体的に微増となった。	3 大変評価する。60% 2 ある程度評価する。40% 1 評価できない。0% ・利用者は微増とはいえ増えているので、継続して運営すればいいと思う。 ・利用・登録はほぼ横ばいになっているが、生活の中でのうるおいとなる地域の中でなくてはならない大事な場所と思っている。予算減は残念で大変だろうが、いい資料を集めてほしい。 ・図書室のセルフ貸出はいいが、やはり大きな図書館に行ってしまう。 ・地区図書室の開室時間が増え、図書館は努力した。利用が微増にとどまったのは図書室そのもののPR不足ではないか。 ・資料購入費減少の中、一層価値ある本が増えるよう努力してほしい。 ・開館当初の特別な資料購入費の予算枠がなくなり、今後どうなるのか心配。 ・特別な資料購入の予算措置も終わり、予算減少の中で、各項目の実績が落ちないことを祈る。 ・江南区を中心館として、他の中心館と肩を並べる蔵書数10万冊以上を確保してほしい。 ・広報活動を工夫していくことが大切と思う。市民の中で話題となるよう視覚アピールがあると良い。
	蔵書点数(点):図書・AV	99,537	106,134	111,624	1.05		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	364,228	375,713	372,579	0.99		
	個人の登録者数(人)	10,108	11,674	12,083	1.04		
	(内新規登録者数)	1,749	1,520	1,540	1.01		
入館者数(人)	156,373	167,572	168,663	1.01			

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28目標	H28実績	自己評点	H29目標	評価(次年度への展開)		
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	2,479	3,706	3,800	4,965	3	5,000	・レファレンス件数の増は、サービスが利用者へ周知されつつあるためと思われる。 ・個人予約件数については、27年度の図書館情報システム変更により当年度は大幅に増えたが、28年度は大きく伸びず微増となった。	3 大変評価する。70% 2 ある程度評価する。30% 1 評価できない。0% ・積極的なレファレンスへの取り組みを評価する。 ・レファレンスは大切で、件数増は、利用者図書館の親密度がアップしたと評価できる。 ・レファレンス件数増は、職員丁寧な対応によるものと思ひ、ありがたく思う。課題解決のため図書館を利用する市民ニーズにこれからもこたえてほしい。 ・引き続きPRを行ってほしい。 ・利用者との不断のコミュニケーションが重要で、かしこまり過ぎない柔軟な窓口対応が声掛けのきっかけになるのではないかな。	
	個人予約件数(件)	48,344	53,295	55,000	53,678	1	54,000			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」								自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	5,717	5,759	5,800	6,007	3	6,100	・郷土や行政資料など、地域資料の収集を積極的におこない、蔵書増につなげることができた。 ・郷土関係の資料展示を2回実施し、市民へ地域資料のPRをおこない、目標達成することができた。	3 大変評価する。80% 2 ある程度評価する。20% 1 評価できない。0% ・自己評価を支持し、評価する。 ・地域資料を収集して蔵書増になり、嬉しく思う。 ・区で1館しかないという自負から、行政資料等の収集保存の活動に努めている。 ・公民館等との連携・協力事業が増え、素晴らしいと思う。 ・今後も地域資料の収集に励んでほしい。 ・展示の増加を期待する。 ・郷土資料展示を見ていない。資料をPRするしかないのでは。	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	3,033	2,892	3,100	3,168	3	3,100			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	0	0	0	0	-	0			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	-	3	3	4	3	3			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	92,261	99,836	100,000	103,861	3	105,000	・赤ちゃんタイムおはなしのじかんを月1回から2回に拡大したほか、おはなしのじかんの参加スタンプカードを10月に導入するなど、子ども・親子対象事業の充実を図った。 ・公民館等との連携・協力事業は、中学生俳句作品展のみにとどまった。	3 大変評価する。70% 2 ある程度評価する。30% 1 評価できない。0% ・非常によく活動していて評価する。 ・児童書の貸出冊数や学校への団体貸出冊数が増えていて素晴らしいと思う。 ・子ども・親子対象事業の参加者数の増加は、おはなしのじかんの拡大ともあいまって、飛躍的に伸びていると思う。 ・おはなしのじかんを増やしたり、スタンプカードを導入するなど努力している。 ・スタンプカード等の工夫は今後も課題だが、実施内容は効果があったと評価する。 ・スタンプカードは手間のかからないやり方にするなど、見直してほしい。 ・公民館等との協働は1回だが、中学生俳句作品展のように継続する努力も大切。 ・公民館等との連携・協力事業が一層盛んになるよう期待する。 ・アンケート等により、参加者の関心が高いことを事業として取り入れてはどうか。 ・協働事業は何ができるかを考え、館外の人に頼らなければならないときは頼ること。	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	557	852	900	1,002	3	1,000			
子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	666	789	900	1,005	3	1,000				
職場体験受入人数(人)	6	7	8	11	3	10				
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	0	2	3	11	3	5				
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	-	2	3	1	1	2				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」								自己評価	外部評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	421	481	485	513	3	500	・読み聞かせボランティア基礎講座を実施し、ボランティア活動を活性化させた。 ・図書館からの働きかけにより、関係機関や民間団体などと連携した共催・協働事業を増やすことができた。	3 大変評価する。80% 2 ある程度評価する。20% 1 評価できない。0% ・ボランティア活動者数が目標を達成できてよかったと思う。 ・基礎講座の実施によりボランティア活動が活性化したのは素晴らしい。 ・講座や協働事業など、積極的にイベントが行われている。 ・共催・協働事業について、図書館の働きかけがあつての増加だと思う。 ・今後も継続を。 ・ボランティア活動が活性化するための事業を今後も充実させてほしい。 ・基礎講座は数年継続することで成果が上がると考える。単発で終わらない工夫を。 ・読み聞かせボランティア活動者数が減ることを心配している。		
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	-	-	-	-	-	-				
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	2	2	2	2	2	2				
共催・協働事業の実施件数(件)	-	16	15	20	3	15				
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	32	32	35	96	3	40	・職員の更なるスキルアップのため、積極的に研修へ参加し大幅に目標を達成した。	3 大変評価する。90% 2 ある程度評価する。10% 1 評価できない。0% ・研修参加者数が大幅に伸び、スキルアップに貢献できたのは素晴らしい。 ・今後も期待する。是非継続を。 ・積極的な参加を。 ・研修の成果を生かして、ますます充実した図書館運営がされることを願う。 ・利用者のいろいろなレファレンスに対応できる知力を身につけてほしい。		